

令和 3 年度 トレーニングセミナー実施結果

1. 目的

センター調査手法の標準化により、センター調査の質向上を図る。

2. ねらい

センター調査の検証における背景の視点を整理して、再発防止策につなげる。

3. 日程

令和 4 年 2 月 12 日 (土)

13 時 00 分～16 時 30 分 (3 時間 30 分) Web (Zoom) 開催

4. 出席者

68 名 (統括支援医 6 名 調査支援医 25 名 総合調査委員会 5 名
厚生労働省 1 名 機構職員 31 名)

5. プログラム

司会進行 日本医療安全調査機構 顧問 山口 徹
兼 医療事故調査・支援事業部長

時間	内容
13:00～13:15 15分	開会挨拶・医療事故調査・支援センターの現状報告 日本医療安全調査機構 常務理事 木村壯介
13:15～13:35 20分	センター調査の現状と課題 総合調査委員会 委員長 宮田 哲郎 国際医療福祉大学 医学部 教授
13:35～14:05 30分	【講義】 センター調査報告書における背景と再発防止策 総合調査委員会 副委員長 長尾能雅 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 部長・教授
14:05～14:10 5分	休憩
14:10～16:00 110分	【演習】 模擬事例を使用したグループワーク ・事例の確認 ・背景について ・再発防止策について 各グループの発表と解説 総評 (まとめ)
16:00～16:20 20分	意見交換・質疑応答
16:20～16:30 10分	閉会挨拶 木村壯介